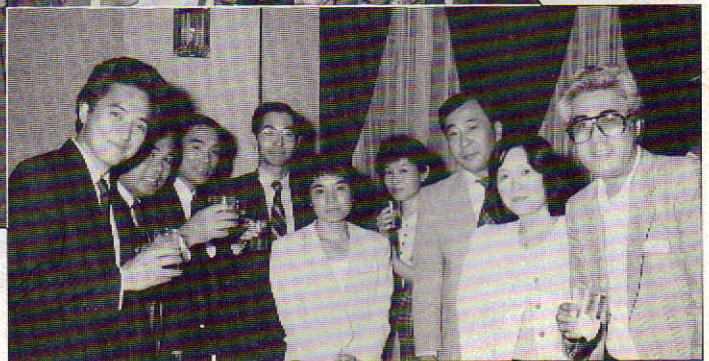




旅愁

更け行く秋の夜 旅の空の  
 匂いも思いにひとりなやむ  
 恋しやふりしとなつかりし父母  
 夢路にひとり 故郷の家路  
 更け行く秋の夜 旅の空の  
 匂いも思いにひとりなやむ  
 窓より風に 夢しやぶれ  
 恋しやふりしとなつかりし父母  
 思いに浮かぶは杜のこずえ  
 窓より風に 夢しやぶれ  
 恋しやふりしとなつかりし父母

非即知ある





# 北羽に吠ゆる



一、北羽に吠ゆる 米代の

碧瀾くだけ 野をひたし

大河 悠々 海に入る

ゆかしの国に 開をあく

高き理想の 若人よ

戦わん哉 時至る

三、曇らぬ胸に 伝統の

幾星霜の 歴史をば

栄冠かち得て かざらんと

刻みし五体は 火と燃えて

唯 慕進の 若人よ

戦わん哉 時至る

涙をのみて 去りゆきし

幾多の友の 望みをば

果さん時は 今なるぞ

行け 松陵の 健男児

行け 松陵の 健男児

戦わん哉 勝たん哉

